

千葉県佐倉市小学校「ビオラで学校を明るくしよう」

作成者：GA・ちば花緑の会（グリーンアドバイザー）山口 まり

■ 実施主体

名 称：千葉県佐倉市教育委員会
シンジェンタジャパン株式会社
GA・ちば花緑の会（グリーンアドバイザー）

■ 取組地域 千葉県佐倉市立幼稚園・小学校・中学校



■ 概要

- 8月下旬に佐倉市教育委員会と種苗会社であるシンジェンタジャパン株式会社が当年度の花育活動実施について会議を行い実施が決定した。その後、シンジェンタジャパン株式会社からグリーンアドバイザーの会「GA・ちば花緑の会」に講師・アシスタントの派遣の依頼があり実施することとなった。
- 9月上旬に佐倉市教育委員会から佐倉市市立幼稚園・小学校・中学校に花育活動の募集を行い、9月中に参加校が決定。佐倉市教育委員会から実施計画（参加校、学年、生徒数）が提示され、10月下旬より11月中旬にかけて10校前後で花育活動を実施した。
- シンジェンタジャパン株式会社が希望校に対して、日時・実施学年と人数・植え付け場所・ビオラの数量の聞き取りを行い、当日の簡単なスケジュールと講師・アシスタントの人数を希望校に伝えるなどの手続きを担当した。
- グリーンアドバイザーの会「GA・ちば花緑の会」に希望校と調整結果の連絡があり、会員の中から講師を派遣した。
- 使用する花苗は、シンジェンタジャパン株式会社の自社品種のポット苗が寄贈された。指導を担当する講師・アシスタントの交通費のサポートもシンジェンタジャパン株式会社が行っている。

■ 取組開始時期・経緯

- ・2011年から行われ、初年度は4～5月にペチュニアを植え付けたが、4～5月は新年度が始まったばかりのため、学校としても受け入れが難しいという声が上がった。翌年（2012年）からは、秋に実施（10月後半～11月）ということになり、花材もビオラに変わった。
- ・GAちば・花緑の会では、花育実施前に講師・アシスタントに「花育を实践するうえでの諸注意」を配布し、指導に対する心構え・指導方法の統一を図った。また、教室内の授業では、スライドを使い植物やビオラの役目や生態・育て方について説明。資料は低学年・中学年・高学年用の3種類を作成し、講師が異なっても同じ内容の講義が出来るようにした。スライドの内容は、実施後に毎年少しずつ改良されている。

- ・実習で使用したビオラは、佐倉市内の生産者が栽培したもので、身近で花の栽培がおこなわれていることで知り、ビオラへの親しみが一層強くなった。
- ・実施校により園児から6年生や特別支援学級生と対象学年が幅広いばかりでなく、参加人数の違い、植え付け場所の条件がまちまちなど、毎回状況が異なる。時には、臨機応変な対応が必要となることもあり、急遽、植え付け場所の変更や新設をお願いすることもある。

■ 目的（目標）

- ・種苗会社による地域社会貢献。
- ・子どもたちに花や植物とふれ合う場を作る。育てる喜びを感じ、学校をきれいにすることで心地よい空間づくりや環境づくりをしていることに誇りを持ってもらう。
- ・花を通じて、保護者・地域の大人との交流やふれ合いの場を作る。

【取り組み内容】

2016年10月～11月実施例

- 対象者・人数：幼稚園1園、小学校10校 合計人数518名
- 教 科：（小学校授業の場合）生活科、総合的な学習、その他
- 所要時間： 〃 2時限（1時限45分＋休み時間10分＋2時限45分）計100分
- 対象場所：幼稚園、小学校
- 指導者：1講座につき 講師1名とアシスタント2～4名

■ 資材（学校側が準備）

- ・スコップ
- ・培養土
- ・肥料
- ・プランター、鉢

■ 花材

- ・ビオラ



ビオラのポット苗

■ 活動内容（指導内容）

- ・子供たちに植物（ビオラ）と親しんでもらう。
- ・植え付けの作業を体験することにより、土に触れ、丁寧に植物を扱い、植え付け方法を教える。
- ・日々の観察や管理をすることにより、植物を育てる楽しみを経験してもらう。
- ・植物が大きく育つ喜びを感じてもらおう。
- ・学校を花で美しく彩ることができる喜びを感じてもらおう。

■ 活動の手順と流れ

1. 事前の準備

授業開始の30分前に講師・アシスタントは、学校に集合

- ・植え付け場所（花壇やプランター）の確認
- ・花壇の場合は、土の状態を確認し、土が固かったり石などがある場合には子どもたちがすぐに植えられるように耕し、土の改良を行う。
- ・プランターや鉢の場合は、作業場所・鉢数・培養土の量の確認をする。
- ・ビオラの数と色の確認。



ビオラの色と数を確認する

2. 花育講義（45分）

授業を行う部屋に講師・アシスタントは移動（パソコン・プロジェクターの準備）

- ・講師・アシスタントの挨拶と自己紹介後、アシスタントは植え付け場所に移動し、準備を進める。

ビオラを所定の位置に配置して、すぐに植え付けられるように準備する。



植えやすいように、ポットを花壇に並べておく

講師は、スライドを使い、花と触れ合う意義や、ビオラについて説明をする

- ・学年（年齢）により、説明する内容を変える。
- ・植え付けるビオラの実物を教室に用意して、説明終了後に実演をしながら植え方を説明する。



スライドを使って説明する

3. 花育実践（45分）

植え付け場所に移動

講義終了後、休み時間中に、植え付け場所に移動。

- ・生徒は、担任、担当の先生の指示により整列して座る。
- ・改めて、ビオラのポットからの抜き方、根鉢の調整、土への植え付け方を実物を使いながら説明する。
- ・植え付ける深さ・植え付けた後に周囲の土をギュッと軽く抑えることなどのポイントを伝える。

4. 植え付ける

- ・各自の植え付けの場所・数は、担任に指示してもらう。
- ・実際にビオラを植え付ける。
- ・子供たちの作業の様子を注意深く見守り、手間取っている子、間違った方法をとる子に声をかけさりげなく手助けをする。
- ・作業場所が狭い場合は、交代で植え付ける。



植え付け前にビオラの扱い方・植え方を説明



一人1鉢ずつ植え付け



花壇に植え付けるときは、順番に並んで植えると良い



プランターに植え付け



戸惑ったり困っている子がいたら声をかける



植え方を説明しながら花壇に植え付け

5. 植え付け終了

全員で植え付けた場所の周囲に立って、植え付けたビオラの様子を見て、植え付け後の配置等を確認する。

ペットボトルのジョウロなどを使って、ビオラの根元に水やりをする。



植え付け後にたっぷりと水やりをする

6. これからの管理について説明

- ・毎日の観察のポイントの説明（土の乾き具合・病虫害・花がら）。
- ・花がら摘みの方法と必要性。
- ・水やり（特にプランターや鉢植えの場合）のタイミングや方法。
*特に、「なぜ」必要なのかという理由を説明する。



植え付け後の花壇の様子

- ・病虫害の被害があったら、先生に相談する。
- ・今後の成長の様子と卒業式や入学式を飾る花になることを説明。



今後の管理方法などを説明する

7. 終了

担任の先生の指示を受けて、終わりの挨拶をする。

8. 植え付けた苗の状態を確認

花壇やプランター・鉢などにしっかりと植え付けができていないかを確認し、道具の手入れや片付けをし、担当の先生に今後の管理を説明して終了。

参考資料（説明用スライド）

はな
花いっぱい
がっこう
学校にしよう

せんこくはないくかどうすいしんきよきかい
全国花育活動推進協議会
シンジェンタジャパン株式会社

1

家の中にもかざられているかな？

リビング げんかん

5

せんせい
お花の先生たちは、
こんなかつどうをしています。

まちのなかで花をかざる 花をうえるおてつだいをする

2

花や植物には
どんな効果があるのかな？

心をリラックス 花の香で癒される

短時間の園芸作業は、心をリラックスさせ、特に花のある植物の世話をするとその効果が高い。

ジャスミンは幸福感をもたらし、ラベンダーは、怒りの感情を抑える効果があります。

疲れを回復 緑化でエコ

植物の見ることで目の疲れの回復を助けます。植物が身近にあると快適な環境が生まれます。

夏の暑い時期は、緑のカーテンや壁面緑化などで室内の消費電力を軽減できます。

出典：財団法人日本花緑センター「花と緑の7つの活用」

6

知っている花はあるかな？

① ② ③

キンギョソウ ナデシコ プリムラ

④ ⑤ ⑥

ヒナギク マーガレット シクラメン

3

うえる花のとくちょうを
見て見よう

ビオラ

- ・スミレ科
- ・生まれ：北ヨーロッパ
- ・花がさくじき：10月～5月

7

どんなときに花がかざられている？

にゅうがしき そつぎょうしき けっこんしき
入学式・卒業式 結婚式

4

ビオラのとくちょう

①花がちいさい
②じょうぶ。
たくさん花がさく
③いろいろな色がある

8



9



13



10



14



11



15



12



16

どうやってそだてるの？

1cm

子葉 (しよう)

17

<ポットなえのうえかた>

①かだんにピオラをうえるあなをほる

②やさしくもつ

③やさしくぬく

21

どうやってそだてるの？

しよくぶつはこの土からえいようをとっています

3cm

タネをまいて1か月前くらい

18

<うえおわたたら水をあげよう>

④花苗のかぶもともまできっかりつちうえます

⑤うえおわたたら水をあげましょう

花や葉にはかからないように土にかけましょう

22

ピオラをそだててくれた人

さくらしうすい いいえんげい
佐倉市臼井の石井園芸さん

19

<うえたあとのていれのしかた>

かれた花をつむ ひりょうをあげる

23

さあ！みんなでそだててみよう！

かだんやプランターにうえる
～よういするもの～

土 (はいようど) ひりょう フランター

シャベル でぶくろ ジョーロ

20

<きちんとおせわしないと……>

かれてしまう どうしてだろう？

24

<そだてた花をつかってみよう>

コップや
花びんにかざる



おしばな



25

次のじかんは、
そとでピオラをうえます。
わからないことがあったらお花の先生に聞
いてみよう。



26

■ 指導のポイント

- ・スライドを使って視覚的な講義と実際に手にとり植物を植えるという作業は、今まで花に関心のなかった子どもたちも興味を持ってくれた。
校庭に出て、植え付け時は子どもたちのワクワク感が伝わってきたり、丁寧に植物を扱う姿が見られた。
- ・実施する学年が低学年の場合は、植物の用語などは、わかり易い言葉に言い換える。
- ・説明は、ゆっくりと、はっきりした口調で話すことを心掛ける。
- ・スライドの画像を使いながら、質問やクイズを出し、飽きさせないようにする。
- ・質問があったら、時間がある限り丁寧に回答する。
- ・全員に目配りし、作業の遅い子には声がけをし、寄り添うように指導する。

■ 児童・生徒に関心を持ってもらえるように工夫している点

- ・講義では、スライドでビオラについての画像を見てもらい、植え付ける植物を理解してもらう。
特に、タネまきから発芽の様子、生育途中の画像を見ることにより、今日届いたビオラのこれまでの様子が分かり、興味を持つことができる。
- ・今回使用したビオラは、同じ市内の生産者が栽培しているので、そのことを伝えると、より一層ビオラに親しみがわく。

■ 経費

- ・ビオラのポット苗はシンジェンタジャパン株式会社より提供（佐倉市全体で約3000ポット）
- ・子供一人当たり植え付け株数4~7ポット。
- ・講師・アシスタントの交通費として、(株)シンジェンタジャパンからのサポートあり。
- ・肥料・培養土・プランターや鉢・スコップなどは、学校側が用意。

■ これまでの成果

- ・2011年より16年まで、6回実施しているが、1回行った学校はリピートする。
- ・学校がきれいになり、同時に明るくなった。

■ 参加者からの感想（児童、生徒、保護者）

- ・子供たちが、先生にビオラの様子を日々報告してくれる。
- ・植え付けの様子を家に帰り保護者に楽しかったと報告してくれた。
- ・子供が花に関心を持つようになった。
- ・花好きの祖父母と一緒に自宅の花を手入れするようになった。
- ・早速、ホームセンター等にビオラを買いに行き、自宅に植えた。

■ 今後の課題やその改善方法

栽培指導に植え付け時だけではなく、その後の管理についても継続的に関わるとよい。

